

シンポジウム 「地域振興について考える」 — 地域が活きる戦略とは —

(拓殖大学北海道短期大学 創立 50 周年記念 プレ企画)

◎日時：平成 27 年 11 月 6 日 (金)

シンポジウム

[時間]

14 時 00 分～17 時 00 分

[場所]

拓殖大学北海道短期大学
スノークリスタルホール
(〒074-8585 深川市メム 4558)

[参加費] 無料



◎シンポジウム概要

(敬称略)

- 主催者挨拶：学校法人拓殖大学理事長 福田勝幸
- 来賓挨拶：深川市長 山下貴史
- 基調講演：拓殖大学地方政治行政研究所長 白石浩介
- パネル・ディスカッション：
 - ・パネリスト：黒瀧 秀久 (東京農業大学生物産業学部長)
 - 早崎 優美 (きたそらち農業協同組合長・本学卒業生)
 - 廣上 和好 (深川商工会議所専務理事)
 - 白石 浩介 (拓殖大学地方政治行政研究所長)
 - 眞鍋 貞樹 (拓殖大学政経学部教授)
 - 橋本 信 (拓殖大学北海道短期大学教授)
- ・モデレーター：篠塚 徹 (拓殖大学北海道短期大学長)

Coming Soon!



50th ANNIVERSARY

◎主催：拓殖大学北海道短期大学 拓殖大学地方政治行政研究所

◎後援：深川市 JAきたそらち 深川商工会議所

◎お申し込み／お問い合わせ先

TEL. 0164-23-4111 (代表) FAX. 0164-23-4411

シンポジウムの開催について

拓殖大学北海道短期大学

安倍内閣は、2014年12月に「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を閣議決定しました。その趣旨は、①「東京一極集中」を是正する、②若い世代の就労・結婚・子育ての希望を実現する、③地域の特性に即して地域課題を解決する、というものです。この閣議決定に先立って同年8月には増田寛也編著『地方消滅』（中央公論新社）が出版され、このまま人口移動が収束しなかった場合には、2010年から40年までの間に「20～39歳の女性人口」が5割以下に減少する市町村は全体の5割近くに達し、北海道では実に80%程度の都市が「消滅可能性都市」に当たる、として、衝撃を与えました。同書は、そうならないための対策も論じていますが、特に「人口減少社会・日本」の縮図ともいえる北海道をモデルとして、人口減少対策のための地域戦略の構築プロセスを検討しています。

他方、藻谷浩介・NHK 広島取材班『里山資本主義』（2013年7月、角川書店）は、マネーに依存しないサブシステムとしての里山資本主義が日本経済を衰退から救うと論じています。また、小田切徳美『農山村は消滅しない』（2014年12月、岩波書店）など、“地方消滅”論に対する反論も出ています。

現在日本が2008年をピークに人口減少局面に入っており、地方の若い世代が過密で出生率の極めて低い大都市部に流出し、日本全体の少子化と人口減少につながっているのは確かです。このままでは、人口減少が地域経済の縮小を呼び、地域経済の縮小が人口減少を加速させるという負のスパイラルに陥ることが必至です。

来年は拓殖大学北海道短期大学（以下「北短」と言う）が北海道深川市に居を定めてから50年になりますが、地域とともに歩む大学として、地域の発展をめぐる昨今の困難な状況を少しでも緩和するように貢献したいと考えています。そのため、北短創立50周年記念プレ企画と銘打って「地域振興について考える - 地域が活きる戦略とは - 」と題するシンポジウムを開催することになりました。パネリストの方々には、さまざまな視点から地域振興について論じていただきますが、深川市を含む空知地区の発展に向けた具体的な提案が期待できるかもしれません。

地域の方々には日頃のご支援に感謝するとともに、ぜひこの機会を利用して本シンポジウムにご来場くださいますようお願い申し上げます。

<FAX 申込書>

FAX.0164-23-4411

お電話またはFAXにてお申し込み下さい。

シンポジウム 「地域振興について考える」 —地域が活きる戦略とは—

申込日 月 日

ふりがな	
氏名	男・女
住所	〒 —
電話番号	
通信欄	

<お申し込み・お問い合わせ先>

拓殖大学北海道短期大学

TEL: 0164-23-4111 ・ FAX: 0164-23-4411